

運動会の記録

先週土曜日の運動会は、どの競技も一人一人全力で取り組みました。

勝って嬉しい気持ちも、負けて悔しい気持ちも、一生懸命頑張った証拠ですね。

皆さん、お疲れ様でした。学年便りでは、2週にわたって、皆さんの運動会での頑張りを振り返っていききたいと思います。今回は、4、5組の作文と運動会の写真を載せます。

「応援されるような態度」

4組

「応援されるようなクラスにしよう。」運動会の説明の時に、先生がおっしゃっていました。その時僕は、なるほどなと思いました。駆け足で移動したり、全力で応援したりすることが勝ちにつながると思ったからです。練習が始まったばかりの時、移動が遅かったり、掛け声が小さかったりして何度もやり直しをしました。競技に勝つには一つ一つの態度が重要であるということに気づきました。

それから、クラスでどうしたらよりよくなるかをたくさん話し合いました。そのうちにクラスの中も深まり、協力し合えるようになりました。また、応援や移動の仕方も良くなりました。そして、本番では優勝することができました。

この体験から、目標を達成するためには勝つことだけでなく、応援されるような態度をとることが大切だと学びました。

「4位でも心は1位」

5組

僕は、この運動会でいろんなことを学びました。練習で全くうまくできず、全部1位にはなれませんでした。でもそれなりに練習を重ねて何とか2位や1位の競技も増えていきました。そんなときいきなり負けてしまうと攻撃的に強く言うてしまうこともありました。

僕には負けてはいけないという心があります。でも、みんなで立ち向かうのに負けはつきものだと気づきました。負けて悔しんでも順位を上げていけばいいとポジティブになれました。

運動会本番、最初は緊張していてあまり結果は出なかったけど、後半追いつけるくらい頑張れたし、みんなで協力することも、1人1人が輝くこともできたと思っています。

初めての運動会で初めての仲間は難しかったけど、みんな楽しめた最高の運動会になったからよかったと思います。結果は悔しいけど、心は1位でいられたし、最下位ではなくてよかったとポジティブに考えられました。



